「年度末報告書（実行団体）

● 提　出　日　：　2022 年　4 月　13 日
● 事　業　名　：　愛知県におけるがん患者の就労支援モデル構築事業～医療と労働の連携を重視した包括的な就労支援体制の創出
● 資金分配団体　：　公益財団法人 日本対がん協会
● 実 行 団 体　：　一般社団法人 仕事と治療の両立支援ネットーブリッジ
● 新型コロナウイルス対応緊急支援助成（通常枠での追加助成）の有無　：　☑有　☐無

① 実績値

【資金支援】

アウトプット	指標	目標値	達成時期	現在の指標の達成状況	進捗状況 *
1-1.個人面談の実施 1-2.ワークショップ（WS）の開催 1-3.仕事と治療の両立支援に関連する制度を紹介する動画コンテンツの作成	1-1.個人面談数 1-2.開催数 1-3.動画コンテンツ数	1-1.個人面談 35→60→100 回/年 1-2.WS12 回/年 1-3. 4 本	2021 年 3 月 ー 2023 年 3 月	1-1. 69 件（20 年度）→104 件（21 年度） 1-2. 4 回（20 年度）→3 回（21 年度） 1-3.　4 本	2
2-1.患者・企業向け支援ツールの作成	2-1.支援ツール・パンフレット	2-1.ツールの完成・使用開始	2021 年 3 月 ー 2023	2-1.企業向けパンフレット、患者向けリーフ	2

2-2.がんアライ部中部の開催 2-3.ブリッジ研究会の開催	2-2.開催数 2-3.開催数	2-2. 2 回/年 2-3. 4 回/年	年 3 月	レットの作成と配布 2-2.2 回/年（計 4 回） 2-3.4 回/年（計 7 回）	
3.支援者の養成	領域特性を理解し、正しい医療情報を扱える支援者の養成を継続的に実施出来る体制が整う パイロットテストを実施出来る資質	養成カリキュラム・講師・各種ツールなど整備 2 名の支援者の育成	2023 年 3 月	養成講座のコンテンツが確定。講師依頼・動画収録を実施中	2

＊進捗状況：1 計画より進んでいる 、2 計画どおり進んでいる 、3 計画より遅れている、4 その他

② 事業進捗に関する報告

1.事業計画に掲げた短期アウトカムの達成の見込み
2.概ね達成の見込み
2.アウトカムの状況
A：変更項目 ☑変更なし　☐短期アウトカムの内容　☐短期アウトカムの表現　☐短期アウトカムの指標　☐アウトカムの目標値
3. 活動に関する報告
新型コロナウィルスの影響が継続するなかで、当初予定していた活動も修正や変更（中止）を求められるようになった。その 1 つとしてワ

ークショップや各種セミナーはオンラインに切り替えるなど実施方法を変更して対応している。本来は対面で行うことに意義がある活動であるが、参加者のニーズや効果を低減させることがないよう十分に配慮しながら実施している。しかしながら従来病院内で行ってきた就活セミナーや両立セミナーは実施が困難と判断し、活動内容を「YouTube 動画によるセミナーの配信」に切り替えることになった。特にがん診断を受けてすぐ、これから仕事と治療の両立に向き合っていく方に有益と思われる各種制度の紹介を行う動画を 4 本作成し YouTube での配信を行うと同時に、2 回 Zoom を利用したオンラインセミナー（リアルタイムでの相談会）を開催した。併せて動画を紹介するチラシを作成し、個別相談などで協力頂いている名古屋第二赤十字病院などがん診療連携拠点病院をはじめ、がん患者との接点となり得る DPC 対象病院や救急病院、乳腺クリニックに配架、周知を頂いている。この取り組みは、地元中日新聞でも紹介頂き、資金分配団体である日本対がん協会、各患者会などを通じてご案内頂いたことで、対象エリアである愛知県を超えて広く周知されるようになっている。視聴された方へのアンケートでも「知りたかった情報があり、とても勉強になった」という声を頂いている。

この動画セミナーは次年度もコンテンツを増やし、継続して活動していく予定である。コロナ禍で対面での支援が難しい状況が続いているが、オンラインの特性や長所を活かした取り組みにも積極的に取り組んでいく。

6. 新型コロナウイルス感染拡大に対して、事業活動を行う際に工夫した点

オンラインツール（Zoom、oVice など）を活用しながら対面と相違ない形で相談業務やイベント開催ができるように努めている。また実施できなかった活動について代替する活動を新規に立ち上げ、補完できるようにしている。（中間報告から変更なし）

② 広報に関する報告

1. シンボルマークの使用状況

☑自団体のウェブサイトで表示している　☑広報制作物に表示している
☑報告書に表示している　☐イベント実施時に表示している　☐その他
→「その他」を選択した場合は記載してください（自由記述）：

2. 広報

1.メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB 等）

・中日新聞（2022 年 1 月 18 日）医療面において「働きながらがん治療　動画で両立支援」掲載。

https://www.chunichi.co.jp/article/402405?rct=medical　（2022 年 3 月 31 日閲覧）

・中村将人編　YORi-SOU がんナーシング 2022 年春季増刊「がん患者さんと家族のはてなにこたえる Q&A100　OK ワード・NG ワードを知ってコミュ力 UP！」（2022 年 2 月、メディカ出版）において Q.46-50（仕事に関する項目）を執筆。

・中外製薬「がん with」ワークブックの紹介動画とダウンロードサイト公開　https://ganwith.jp/work/workbook.html　（2021 年 12 月）

2.広報制作物等

・第 6 回（22 年 1 月 21 日開催）がんアライ部名古屋のチラシを作成（500 部）。

・第 16 回（21 年 11 月 14 日開催）、第 17 回（22 年 2 月 20 日開催）ブリッジ研究会のチラシを作成（各 2,000 部）。

・ワークショップチラシ（21 年 10 月、22 年 1 月発行）を作成（各 3,000 部）

3.報告書等

・東海ろうきん NPO 育成助成・A・新規事業創出部門「実績報告書」（YouTube 動画セミナー制作）を作成し、報告会において実施内容を報告した。

・本事業の取り組みをまとめた「2020 年-2021 年度成果報告書」を作成（500 部）。関係機関等に配布し、事業の周知に活用する。

4.イベント開催等（シンポジウム、フォーラム等）

④規程類の整備に関する報告

1.　事業期間に整備が求められている規程類の整備は完了しましたか。
☐完了　　☑整備中
2.　整備が完了した規程類を web サイト上で広く一般公開していますか。
☑全て公開した　☐一部未公開　☐未公開 →「一部未公開」「未公開」を選択した場合の理由と公開予定日：
3.　変更があった規程類に関して資金分配団体に報告しましたか。

☑はい　　☐いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：

⑤ガバナンス・コンプライアンスに関する報告

1.　社員総会、理事会、評議会は定款の定める通りに開催されていますか。
☑はい　　☐いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：
2.　内部通報制度は整備されていますか。
☑はい　　☐いいえ →「はい」の場合の設置方法（複数選択可）：☐内部に窓口を設置　　☐外部に窓口を設置　　☑ JANPIA の窓口を利用
3.　利益相反防止のための自己申告を定期的に行っていますか。
☑はい　　☐いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：
4.　関連する規程の定めどおり情報公開を行っていますか
☑はい　　☐いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：
5.　コンプライアンス委員会は定期的に開催されていますか。
☐はい　　☑いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：コンプライアンス委員会は設置せず、コンプライアンス責任者の設置により対応している為

6.　報告年度の内部監査又は外部監査を実施予定ですか。（実施済みの場合含む）
☑内部監査を実施　　☐外部監査を実施　　☐実施する予定がない →「実施する予定がない」を選択した場合の理由：

添付資料

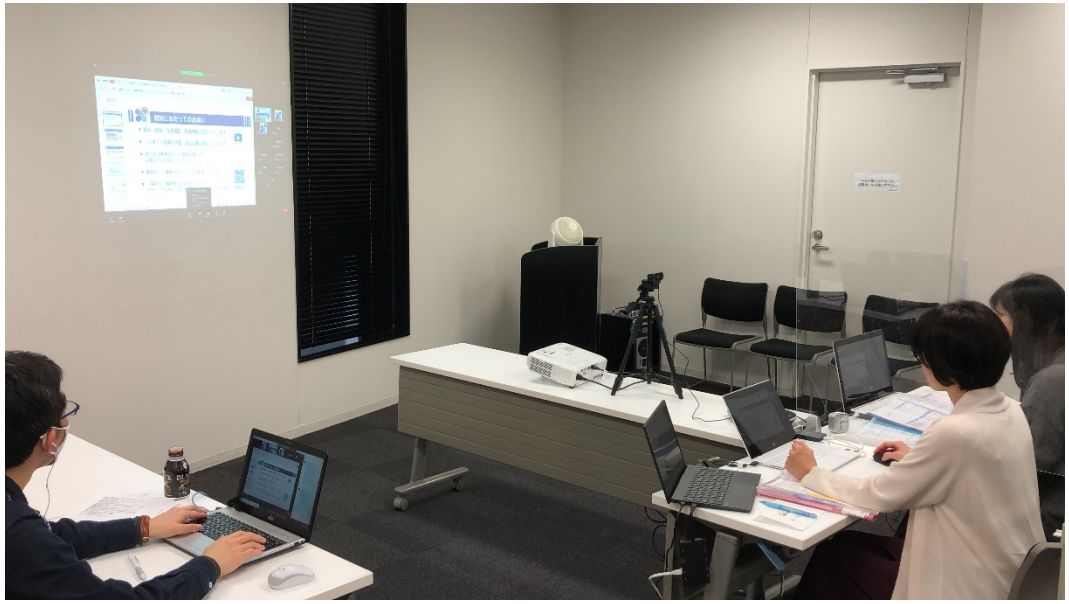
活動の写真（画像データは 1 枚 2 MG 以下、3～4 枚程度）

①4 本の動画を配信、オンラインでの制度セミナーを実施

YouTube チャンネル「仕事と治療の両立支援ネットーブリッジ」を開設し、以下 4 本の動画を公開している。

1.これから治療と向き合うあなたへ
2.就業規則「代表的な休暇制度」
3.健康保険「高額療養費制度・前編」
4.健康保険「高額療養費制度・後編」

2022 年 1 月 29 日、2 月 13 日に Zoom を用いたオンラインでの制度セミナーを実施（各 60 分）。動画内容をふりかえりながら、視聴者から頂いた質問に答える。



②2022 年 1 月 21 日オンラインにて開催した第 6 回がんアライ部名古屋。テーマは『企業が知るべき 両立支援における合理的配慮の考え方』講師は髙森裕司先生（弁護士法人 名古屋南部法律事務所平針事務所 弁護士）

③第 9 回「がん就労を考える会」（2021 年 10 月 3 日開催）におけるパネルディスカッションに登壇。テーマは「がん患者の職場復帰時の心理的不安について考える」